

## 事業計画書

事業名	北陸新幹線開通記念！ 人口減少対策に北陸との交流・魅力PR事業
実施箇所	北陸地方、佐久地方
実施期間	事業開始予定年月日 平成27年5月15日
	事業終了予定年月日 平成28年3月31日
<p>&lt;事業の目的&gt;</p> <p><b>【背景と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年4月1日佐久市の人口は99,650人(佐久市統計データより)と10万人を割ってしまっている。 市長は「佐久市においては、人口は微増傾向といわれておりましたけれども、やはり世の流れにおいて、人口減少社会が始まったことを感じる瞬間だったと思います。今後、状況の変化や事を動かす人口減少社会というものを、いかに減らさないで、あるいは横ばいで、あわよくば右肩上がり人口が増えるような施策が打てれば良いなと思います（「人口減少社会の中 佐久市の今後の取り組み等に関して・新佐久市誕生10周年記念事業に関して」（平成26年4月25日市長放送）より抜粋）さらに、北陸新幹線の開通にあたり佐久平駅の停車本数維持をうけ「利便性を求めて働き掛けた成果が出た。移住者増の取り組みを進めたい」（産経ニュース）と述べている。</li> <li>・佐久市では、空き家の有効活用を通して、市民と都市住民の交流拡大および定住促進による地域の活性化を図るため「空き家バンク」を実施している。空き家バンクは、仲介した入居の成約件数が全国1となるなど平成27年2月内にも300件に達する見通しとなる(平成27年2月23日読売新聞より)など、全国から見て佐久市への関心の高さがうかがえる。</li> <li>・平成27年3月14日北陸新幹線開業に伴い、金沢まで2時間で結ばれるようになり、利便性や回遊性が向上され、より身近に佐久を感じることができるようになった。</li> <li>・農業や商工業者においては、高齢化や後継者不足により、農・商工業生産は大きく減退するため、地域活力が低下してきている。(佐久市の活性化計画の目標及び計画期間より)</li> </ul> <p>《以上の背景や課題を踏まえ、事業目的を以下とする。》</p> <p>北陸地方へ、佐久地域の地場産品や観光、食、自然などの地域資源※を肌で体感してもらい、「佐久に住みたい」「佐久ってこんなに素晴らしいところ」として認知、空き家バンクと連携し定住促進や人口減少対策、後継者対策につなげる。</p> <p>※地場産品：佐久の地酒や佐久鯉、高原野菜、果物、ケーキなど                  観光地：ぴんころ地蔵尊、旧中込学校、龍岡城五稜郭など                  食：佐久鯉、蕎麦、地酒、果物、安養寺ら〜めん、ケーキ等                  自然：長野牧場、千曲川、森林セラピー基地、国立・国定公園等</p>	

<事業の内容>

北陸地方との交流・魅力PR事業

期 日：9月21日(月) (予定)

場 所：St. ルミエールアンジュ

対 象 者：佐久の男性(独身者)、北陸(富山・金沢)の女性

事業内容：佐久地域の魅力・PR発信事業

1. 佐久地域の未婚男性を対象に、女性ファンの多い市内事業所の経営者が講師となり、『脱草食系男子』を目指し外見だけでなく内面も磨くことで男気をつける。男磨き(洋服や髪形、女性とのトークやエスコート方法など)を学ぶことで、下記2. 地場産品や観光地、食、自然を伝える交流婚活イベント実施にあたり、北陸地方の女性とのカップル成立率を高める。
2. 佐久市観光協会発行の「信州佐久」などを使った、地場産品や観光地、食、自然を伝える交流・婚活イベントの実施
  - ・バスによる「佐久満喫ツアー」コース(案)  
佐久平駅→煮こじ蕎麦で昼食(田衛門)→ぴんころ地蔵尊で婚活成就祈願→森林セラピー基地でウォーキング(パラダ)→日本三大ケーキの町でケーキの試食(ピーターズ)→交流会(佐久の地酒で乾杯)
  - ・佐久の男性40名、北陸(富山・金沢)の女性40名での婚活・交流会の中で、佐久に関するクイズやゲーム形式で楽しく佐久を知ってもらい、同時に佐久の男性も知ってもらう。
3. 空き家バンクの紹介  
定住や移住促進につなげるため、佐久市の実施する空き家バンクの紹介や、佐久地域の自然の紹介や説明をDVDなどで分かりやすく伝える。
4. 佐久の興味アンケートを実施する  
1～3の事業を実施することで、佐久への関心や興味がどれだけ高まったか等アンケートを実施し、今後のまちづくりや空き家バンク等に活かしていく。

事業スケジュール

- 6月佐久市地域の未婚男性を対象にした「男磨き」実施
- 7月商工会議所会報、広報佐久(市報)、ぷらざ佐久平、北陸地方の道の駅などへ事前予告ポスターを掲示してもらう。北陸の情報誌「金沢情報(23万部)」「富山情報(14万部)」等へ募集広告を入れる。
- 8月初旬参加者を決定する。
- 9月観光ツアーコース内容の最終確認をする。
- 9月21日「事業実施」
- 10月事業実施後の佐久市への関心・興味アンケートを実施。
- 11月アンケート取りまとめ。
- 12月～1月決算・会計処理
- 2月～3月事業報告まとめ・提出

事業概要

<事業の効果・アピールポイント>

- ・佐久地域の未婚男性が『脱草食系男子』（外見だけでなく内面も磨くことで男気をつける）男磨き（洋服や髪形、女性とのトークやエスコート方法など）を学ぶことで、交流婚活イベントのカップル成立率が高まる。
- ・「データでみる 信州・長野県の魅力」、「移住・交流がもたらす効果」（別紙参照）より、長野県のポテンシャルを県外の人に伝えることで、社会的効果、経済的効果、教育的・心理的効果が期待される。  
（移住・交流による経済効果は社会保障費などの公的負担の約10倍）
- ・北陸地方の女性から見た佐久市の地域資源等に関する関心や興味がどれだけあるのか？増えたのか？に対する40名のアンケート結果を得ることができることで、今後のまちづくりや、地場製品の開発等に活かすことができる。
- ・佐久市の魅力をPR・知ってもらおうきっかけとなる。
- ・佐久市の地域資源(宝)を北陸地方へアピールする事ができる  
地場産品：佐久の地酒や佐久鯉、高原野菜、果物、ケーキなど  
観光地：びんころ地蔵尊、旧中込学校、龍岡城五稜郭など  
食：佐久鯉、蕎麦、地酒、果物、安養寺ら〜めん、ケーキ等  
自然：長野牧場、千曲川、森林セラピー基地、国立・国定公園等。
- ・カップル成立率を高めることで、2組の成立をめざし、農・商工業者の高齢化や後継者不足の解消につながる。経済効果は、1人当たり年間消費額＝124万円（観光庁観光交流人口増大の経済効果（2013年）より）と算出されていることから、生涯にわたり大きな経済効果が期待できる。
- ・空き家バンクの成約率・移住希望者のアップ(最低2名)につながる。
- ・北陸新幹線の利用による、佐久平駅の乗降者数の増加 など

<事業における市の役割分担>

- ・広報佐久による募集記事、事業PR
- ・北陸地方の各市広報への募集掲載依頼
- ・メディアへのプレスリリース
- ・JR東日本(北陸新幹線)等への協力依頼